

## 第554回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 令和6年11月27日(水) 午前11:00より
2. 開催場所 長野放送本社会議室
3. 委員の出席 ○委員総数 8名  
○出席委員数 5名  
○出席委員の氏名(敬称略・委員は五十音順)  
委員長 林 新一郎  
委員 加藤恵美子  
委員 武重 正史  
委員 中山 潔  
委員 南澤 光弥  
○欠席委員の氏名(敬称略・委員は五十音順)  
副委員長 井上 裕子  
委員 浅井 隆彦  
委員 笹本 正治  
○放送事業者側出席者名  
外山 衆司 (代表取締役社長)  
船木 正也 (常務取締役 編成業務・放送番組審議会担当)  
西條 彰浩 (取締役 報道制作局長)  
早川 英治 (編成業務局長)  
浅輪 清 (編成業務局次長 兼 考査部長  
兼 放送番組審議会事務局長)  
北澤 輝久 (編成業務局編成部長 兼 視聴者室長)  
伊藤 晴彦 (報道制作局次長)  
前角 綾 (報道制作局制作部副部長)

### 4. 議題

#### (1) 番組審議

『 NBSフォーカス∞信州

感じる!楽しむ!体験 信州ミュージアム巡り 』

令和6年8月30日 金曜日 午後7時00分から放送

(2) 視聴者対応報告（令和6年10月分）

番組種別報告（令和6年4月～9月分）

(3) その他

## 5. 議事概要

### (1) 番組審議

- ・上田の「サントミュージゼ」は、子どもの頃からいろんな体験や想像する力が身に付いて、素晴らしい施設があるということを県民の誇りと思った。
- ・装飾をされた土器について、「何に使ったのでしょうか」と考える時間を作って、子どもたちも興味を持つことはとても良い。それが次のアイデアに繋がるのだろうと、とても評価している。
- ・長野県の学芸員の取り組みとして、一致団結してシンビズムのような贅沢な展覧会を行っているということを知ったのも価値が高かった。
- ・小林知美さんのレポートは秀逸。楽しみながらも内容への興味をそぐことなく深掘りしてくれていると感じた。
- ・もう中学生さんは、芸風と今回の企画のマッチングも良く、特にテーマの「楽しむ、体験」という所の体験プログラムでは、独自の感性で難無くいろんなものを作っていくのは、さすがだなと感じた。
- ・小林知美さんは、絵の才能も非常にあるのにびっくりした。とても素晴らしい絵で、もう少しゆっくり見せてもらいたかった。
- ・県内出身の二人の芸人の起用について、手先なども器用で、まさにいろんな体験、物作り等については力を発揮して、人材の選択も素晴らしかった。

- ・もう中学生さんと小林知美さんの二人のミュージアム巡りを見たかった。
- ・「須坂版画美術館」の新人学芸員、田中想子さんのキャラクターがとても良くて、孤独感とか悩み、将来に向けた希望というのを淡々と語っているところが、ある種バラエティ番組の中でドキュメンタリー番組的なタッチも含まれたところは、とても良かった。
- ・新人の学芸員の活動を追いかけて、人間ドラマも入れながら、その実態を見せていただいたことは良かった。
- ・小さい時に美術に触れる機会というのを、もっと増やした方がいいのではないか、という最後のメッセージも伝わったので良い番組だった。
- ・数多くの信州ミュージアムで働く学芸員さんの生き生きとした姿。その方々の個性によってミュージアムが作られていることを伝えて、もっとミュージアムに足を運んでほしいという作り手さんの思いが、伝わってくるように感じた。
- ・学芸員さんの奥深い見識やそれぞれの感性に基づいて美術品を見せることで、展示品に新たな息吹が吹き込まれるところにフォーカスした番組だと感じて良かった。
- ・「信州は美術館、博物館の数が日本一」について、長野県の地図の中にドットで落としてもらって、こんなにまた身近にあるのだと、そんな見せ方や、数とかを教えていただければさらに良かった。
- ・番組の中で一番という数字の信憑性を表現して欲しかった。データを詳細に示すと、文化芸術に対する県民の意識も上げられるのではないかと感じた。
- ・全国に誇れる多くの美術館をどのように支えていったらいいのか、視聴者も当事者意識を持って、考える機会になったのではないかな。
- ・学芸員の皆さん方の取り組みについて、影で支えるスタッフとその皆さん方の交流、新しい動きが出てきているということで、さらにこの部分については、深くフォーカスをいただければありがたい。
- ・「森のおうち 絵本美術館」の酒井館長の言葉と口の動きが、一部、合っていないか

ったような気がする。

- ・もう中学生さんとヤジマリーさんは、美術館と服装があまり合っていない。
- ・もう中学生さんはもっと本当はすごいものをパッと作れる人だと思うが、いま一つ、その絵が伝わり切れていなかった。
- ・小林知美さんの絵を見て驚いて、小林さんの絵の紹介をもっとしてもらいたかった。
- ・シンビズムのみに絞っても、相当の番組になるのではないかと思った。
- ・意外にもこんな見方もできるとか、こんなこともできるみたいな違った角度で、楽しみ方を紹介するところもあった方が良かった。
- ・新人学芸員の田中想子さんのエピソードの間に、小林知美さんの「森のおうち」のレポートをあえて挟んだ構成になっていたが、どんな効果を狙ったのか。

## (2) 視聴者対応報告（令和6年10月分）

### 番組種別報告（令和6年4月～9月分）

資料に基づき、令和6年10月分の視聴者対応と、令和6年4月から9月分の番組種別について、編成部より報告を行った。

## (3) その他

### 配布資料

- ・第553回番組審議会（令和6年10月）議事録
- ・視聴者対応報告資料（令和6年10月分）
- ・番組種別報告（令和6年4月～9月分）
- ・モニターレポート

『 NBS Live News みんなの信州 』

（令和6年11月15日（金）午後6時09分～7時00分放送分）

- ・ BPO報告 (NO. 269、270)
- ・ 民間放送ニューズレター (第2232、2233号)

以 上